

第 26 回 内燃機関シンポジウム フォーラム企画Ⅱ

場所 京都テルサ テルサホール

フォーラム：12月10日（木） 14:50-17:20

タイトル：

動き出した内燃機関の産学官連携研究 ～ AICE 共同研究の現場から ～
司会：川那辺 洋 氏（京都大学）

概要：

"第 22 回内燃機関シンポジウム（2011 年）より産学連携研究の議論を積み重ね、昨年より AICE（自動車用内燃機関技術研究組合）が始動し、また SIP 革新的燃焼技術で大規模な内燃機関に関する産学官連携研究の取組みが始まった。この取組みにより、新たな産産学学連携による研究が進められている。前回のシンポジウムでは、これらの活動開始の状況が基調講演やパネルディスカッションで議論された。

今回は、この研究状況について、AICE で取組んでいる産学官連携研究の概要および「クリーンディーゼルエンジン技術の高度化に関する研究」の研究成果とともに研究現場の変革状況について紹介する。

講演① AICE における共同研究の概要および体制

土屋 賢次 氏（自動車用内燃機関技術研究組合）

講演② DPF 内部現象解明研究の成果と現場変革

福間 隆雄 氏（早稲田大学）

講演③ EGR デポジット抑制技術研究の成果と現場変革

小熊 光晴 氏（産業技術総合研究所）

講演④ 白煙抑制技術研究の成果と現場変革

北村 高明 氏（日本自動車研究所）